

2014.2.26  
南区役所

# 南 区

南区自治協議会まちづくりワークショップのまとめ

新潟市南区自治協議会

まとめ：特定非営利活動法人まちづくり学校

## 南区自治協議会まちづくりワークショップ

### 実施概要



日時：2014年2月26日(水) 15:50~17:15

会場：南区役所4階 講堂

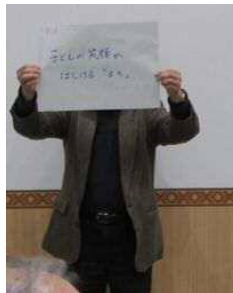
主催：南区地域課、政策調整課

コーディネート：NPO法人 まちづくり学校  
池井豊、伊藤明世

### 当日のプログラム

時間	内容
15:50	オープニング(主催者挨拶)
15:55	区ビジョン点検シートの説明
16:10	ワークショップの手順説明
16:15	グループ内での各取り組み評価と今後に向けた意見
16:45	各グループからの発表
16:55	将来像・目指す姿についての意見整理
17:10	各グループからの発表
17:15	終了

### 当日のワークショップ風景



# 1

## 安心・安全確保のための基盤整備

グループ1：種村幸夫、桜沢義栄、高橋重夫、佐々木彰治、本間正子  
(参加職員) 高橋佳子

### 将来像・目指す姿の改善案(自由意見)

#### 「目指す姿」について

- ・「安心・安全な農産物を供給するまち」の「農産物」を別の言葉に置き換える。  
(例：6次産業化、食糧供給基地を視野に入れた表現にするなど)
- ・若者が住めるまち(企業誘致や子育て支援など)。
- ・中央にものを言える区役所に！

### これまでの取り組み評価

#### プラスの評価

#### マイナスの評価

#### 水害対策や自主防災活動、道路整備や子育て支援体制に対する評価

<ul style="list-style-type: none"><li>○防災無線の整備</li><li>○南区の防災メールが活用できる。本日の PM2.5 に関する注意喚起が早急に防災無線で流れていた。</li><li>○月潟地区に防災無線が新たに取り付けられたこと。</li><li>○自主防災組織が各地域にできている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○避難所の小学校が昔の災害地にあり、2回も場所を変えられた。水害の時の避難所が全然ない。</li><li>○水害対策が遅く感じる。</li><li>○中ノロ川の早期整備を。国直轄管理を。</li><li>○FM ラジオ、防災無線が緊急時にあまり機能しなかった。</li><li>○市道に付帯する歩道の整備が遅々として進んでいない。</li><li>○道路整備が進んでいない。</li><li>○小須戸橋の架け替えが進んでいない。</li><li>○避難訓練に全団体を参加させていない点。</li><li>○福祉避難所の数が少なすぎる。</li><li>○災害時の民間施設の活用がなされていない。</li><li>○学童保育が各小学校区毎に整備されていない。</li><li>○行政は政令市になって都市構築に必要な土地確保を図らず、現法律の下、確認申請を許可している。 (4グループからの意見)</li><li>○道路の幅や距離が改善されないのに、車社会で車の台数だけ増加し、調整されていないのが混雑のもと。 (4グループからの意見)</li></ul>
--	--

### 今後何をしたいら良いか

- 防災訓練後の検討会を重ねる事が一番大事である。
- 保健福祉の面で個人情報の取り扱いに関する規制をもう少しゆるくしてほしい。



# 3 魅力ある農業・農村の確立

グループ3：田村義三郎、丸山新吉、棚村真寿美

(参加職員) 松元明子

## 将来像・目指す姿の改善案(自由意見)

### 「目指す姿」について

- ・安心・安全で暮らしやすいまちづくり。
- ・家族がおもいやりや触れ合いを大切にするまち。
- ・伝統を大事にするまち。
- ・つくるのも大事、守るのも大事  
(伝統や産業などを作るだけでなく、守り育てていく姿勢が大切)。

### これまでの取り組み評価

#### プラスの評価

#### マイナスの評価

### 安心安全な生産方法と後継者の育成、果樹・園芸・畜産に対する評価

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○エコファーマーが増加した。減農薬栽培が増加した。</li> <li>○安全な米作りを推進した。</li> <li>○安心して食べられる米、減農薬・有機肥料の作付面積が増えた。</li> <li>○果樹・切花・しろねポークの名前は認知されてきている。給食でも紹介されている。</li> <li>○南区特産のレクチエ・果実の認知度は増しているが、今後も都市と農村の交流を進める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全な米作りをしていることが、それほど認知されていない。</li> <li>○農産物のPRが足りない。</li> <li>○後継者をどう育てているのかわからない。</li> <li>○しろねポーク生産者減少(今は鷲巻のみ)。</li> <li>○南区は昔から果樹産地であるが、稲作同様に高齢化が進み、重労働により維持が困難になっている。</li> </ul> |
|--|---|

### 今後何をしたいらいいか

- 同一集落で昔ながらの農業を続けてきた人々に集落営農を進める。生産組織の育成。
- 地域や組織を超えた広がりのある農産物直売所の創設と、出荷者への手厚い指導。
- 農業団体とのコミュニケーションで行政の役割(できること)を明確にする。
- インターネットなどを利用し、買ってもらう人を増やす。
- 果樹の生産者が年々歳を取って来たので事業継承できるようにしてもらいたい。(1グループからの意見)
- 地域の暮らしに繋がる農産物の流通促進。(1グループからの意見)
- 農産物の低温貯蔵によって通年流通を図る。(1グループからの意見)

# 4 田園型政令市の豊かさとにぎわいの形成

グループ4：笠井修作、渡辺康、高橋文子、坪川藤夫

(参加職員) 伊藤明世 (まちづくり学校)

## 将来像・目指す姿の改善案(自由意見)

### 「将来像」について

- ・大地の恵みと伝統文化、郷土愛が育むうるおいのあるまち。

### 「目指す姿」について

- ・先進的な農業を実践するまちづくり。

## これまでの取り組み評価

### プラスの評価

### マイナスの評価

## 農業活性化研究センター・アグリパーク・環境保全型農業・地産地消の評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業活性化研究センターを開設してよかった。将来に向けて頑張ってもらいたい。</li> <li>○農業活性化研究センター及びアグリパークが設置されたこと。</li> <li>○アグリパークの主たる目的が教育ファームに特化し、その役割が期待されること。</li> <li>○アグリパークがすばらしい教育ファームになってほしい。全国の見本となってほしいのでよかった。</li> <li>○地産地消の推進が進んだ。</li> <li>○地産地消のために学校給食に地場産の米を使用していること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アグリパークは南区にとって将来の豊かさにつながるのでしょうか。</li> <li>○旧白根市から提案されたアグリパークの果たす役割が途中で変わってきたきらいがあり、地元で十分説明されていない。</li> <li>○設備等の認識・PRが必要。</li> <li>○環境保全型農業についてはよくわからない。PR不足と思う。</li> <li>○合併建設計画に計画された資源循環センターが実現しなかった。</li> <li>○生産者の事業利益が出ない。</li> <li>○学校給食で地場産の園芸生産物が100%使用されていないのでは。</li> <li>○格差が広がっている。市街地・農地は開発され、調整地は残る。荒廃し、農業だけでは生活できない。農村人口の減少が進む。</li> </ul>
---	--

## 今後何をしたいら良いか

- 目標の「豊かさ」「にぎわい」とは何を意味するのかわからない。もっと明確にする。
- グリーンツーリズムの拠点ができるので強力で推進を図るべき。
- 農家レストランなどで消費者とのつながりを深めることを期待します。
- 南区にとってのブランド化をもっと増やしてほしい。
- 消費地(旧新潟市)に特産物の販売を米・果樹の収穫時に行う。
- 女性農業者が農産物の付加価値を向上させるため、農業活性化研究センター及びアグリパークで指導をお願いします。
- 減反政策で南区が中心になって田園型住宅を提供すべき。人口増加を図る。

# 5 観光・文化・スポーツ交流の充実

グループ5・6：青木智子、長谷川次郎、田辺金一  
 (参加職員) 笠井正信

## 将来像・目指す姿の改善案(自由意見)

### 「目指す姿」について

- ・大凧が舞い、獅子が舞う、ル レクチエのまち。
- ・子どもの笑顔がはじける「まち」。

## これまでの取り組み評価

### プラスの評価

### マイナスの評価

## 観光資源、文化・スポーツ交流に対する評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>○角兵衛獅子の口上・笛・太鼓の予算が付き練習中。</li> <li>○白根大凧太鼓はいろいろな場面で披露され、認知度が上がってきている。</li> <li>○白根野球場は長い間の要望が実現した。</li> <li>○白根ハーフマラソン大会は出場者が徐々に増えている。</li> <li>○白根大凧合戦は区の大イベントであり、にぎわっている。</li> <li>○白根大凧合戦のPR、東京でイベント。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○白根大凧太鼓はできたが保管場所等、その後の対応が良くない。</li> <li>○施設をうまく活かせていない。</li> <li>○野球場は使いにくい。(申込手続き、管理人)</li> <li>○スポーツ施設使用が減っている。(有料・手続き)</li> <li>○白根大凧合戦にかかる費用が大きく、他の事業が縮小されている。</li> <li>○交通が不便で、観光客が来られない。</li> </ul>
---	--

## 今後何をしたいら良いか

- 南区の文化をひとまとめにした大イベントを企画して、対外的にPRする。
- 「ル レクチエ」のPRの際は白根をもっと前面に出す施策を行う。
- 白根ハーフマラソン大会は出場者に気持ちよく走ってもらうために、マラソンコースの環境整備をすると良い。
- スポーツ大会の規模を拡大するために、宿泊施設が無いことを改善する。(1グループからの意見)

# 6 区民と共にまちを育てる

グループ5・6：青木智子、長谷川次郎、田辺金一  
(参加職員) 笠井正信

## これまでの取り組み評価

### プラスの評価

### マイナスの評価

### コミュニティ協議会・自治会・ボランティア団体に対する評価

○小林コミ協では運動会、卓球大会、文化祭など地区  
住民参加事業がずっと継続されている。

○コミ協の予算が少なく活動ができない。  
○コミ協の予算が無い。金が無ければ動けない。  
○公民館分館の廃止。地域の活動にブレーキがかかる。

## 今後何をしていたら良いか

意見なし